

Seasonal News Pomp and Classics!

Vol. 47

季報 ポンプ&クラシックス!



一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

141-0022 東京都品川区東五反田5-24-9 五反田パークサイドビル5F

2025年2月20日発行 第47号 (季刊・毎年2、5、8、11月発行) 発行人: 入山 功一 編集人: 中村聡武

CLASSIC TEL 03-5488-6777 FAX 03-5488-6779 E-mail info@classic.or.jp https://www.classic.or.jp/

本紙タイトルの「ポンプ&クラシックス Pomp and Classics」とは、英国の作曲家エドワード・エルガーの名曲「威風堂々 (Pomp and Circumstance)」のタイトルを転用し、華やかにクラシック音楽を盛り上げていきたいとの想いから付けられました。

INDEX

P.1 新年のご挨拶／新年会開催報告

P.2 Activities

P.3 What's New (会員情報／今後の活動予定)

P.4 会員一覧／リレーエッセイ



© ヒタキトモコ

今年も桜の便りが聞こえてくる季節となりました。早咲きの河津桜は、見頃を迎えているようです。昨年は、クラシック音楽界にとってコロナ禍からの本格的な回復の年になりました。その安堵感に、コロナ禍など大昔の出来事のような気分にもなります。しかしながら、忘れてはならないのは、あの時、私たちクラシック音楽界が、それぞれの立場を超えてコロナ禍に立ち向かったという揺るぎない事実です。あの時ほど、私たちが同じ船に乗る仲間であることを痛感したことはありません。折しも、本年11月、当協会は社団法人認可から30周年を迎えます。コロナ禍の経験を踏まえ、これからも結束して諸問題に取り組んでまいります、そう決意を新たにしたところです。

さて、協会では、インバウンド需要の高まりをクラシック音楽界にも取り込めないものかと考え、昨年インバウンド対策協議会を立ち上げました。また、クラシック音楽の啓蒙普及に寄与した著名人を顕彰するクラシック・アワード (仮称) についても委員会を立ち上げ、委員による熱心な議論、検討が続いています。一昨年スタートした青年部は、会合の回数を重ね、意見交換や情報交換の場として機能していることを嬉しく思っています。また、長年連携している地域創造は、本年創立30周年を迎え、ますます当協会との結び付きを深めています。宝くじのアトラクションについては、年末ジャンボに加え、昨年からサマージャンボも手伝い始めました。もちろん従来からの部会、委員会も活発な活動を再開しています。FACPと連携する国際交流事業、人材育成を目的とした研修会では、コロナ禍前から較べても最多の参加者で実施されました。喜多副会長のご尽力により、関西西部会は会員数を増やし、その勢い留まることを知りません。そして、当協会会員社を中心に共同執筆した産学連携テキストもまもなく刊行されます。コロナ禍を乗り越え、協会活動は息を吹き返したのです。

昨年、皆様にお約束致しました通り、当協会の活動が、コロナ禍における「守り」から「攻め」へと転換出来たことを誇らしく思っているところです。しかし、まだまだ積み残しは多く、3年のブランクを取り戻すに至っておりません。新たな課題も出現しています。コロナ禍においてクラシック音楽界を牽引した当協会の結束力や推進力を今一度思い起こし、会員社各位におかれましては、今後のさらなるご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 会長 入山 功一

令和7年新年会を開催しました

1月30日(木)アルカディア市ヶ谷私学会館にて開催いたしました。正会員97名、賛助会員33名の計130名という、コロナ前と比べても最大級のご参加を得て、華やかに新年のスタートを切ることができました。入山会長の開会挨拶、下八川副会長と萩野理事による乾杯の他、新入会・初参加会員からのひと言コーナー、青年部・女性部会・健球会からの活動PRも行われました。喜多副会長と奥村理事による中締めを経て、二瓶専務理事の閉会挨拶をもって開催となりました。



Activities

●11月6日 令和6年度第1回インバウンド対策協議会

(於: オフィスサークルN五反田 大セミナー室)

10社14名の会員と協会役員3名、計17名が参加しました。主催者、ホール、プレイガイドなど各々の立場から、現状での取り組みや感じている課題について意見交換しました。(詳細は前号1面で報告済み)

●11月19日 第6回(令和6年度第3回)青年部

(於: オフィスサークルN五反田 小セミナー室)

これまでワーキンググループで検討していた4つのテーマのうち、「勉強会の開催」について具体的な議論を進めました。

●12月7日 令和6年度第2回関西地区連絡協議会&忘年会

(於: ザ・シンフォニーホール)

8社11名の関西地区会員と協会役員3名、計14名が参加しました。チケットの販売拡大・顧客拡大での連携について、公演時のクレーム対処、キャンセル対応、合理的配慮義務対応、インバウンド対応について話し合いました。終了後には会場を移動し忘年会を行いました。



●12月13日 令和6年度第1回アワード運営委員会

(於: オフィスサークルN五反田 大セミナー室)

8名の委員と協会役員3名、計11名が初めて集まり、数年来の懸案であったクラシック・アワード(仮称)の実現性について議論しました。対象、選定方法、賞金・贈賞内容、時期等に関し経験やアイデアを持ち寄り意見交換し、実現に向けて 予算規模等も含めて引き続き協議する事になりました。

●12月31日 年末ジャンボ抽せん会&年末特別コンサート本番

(於: 東京オペラシティ コンサートホール)

●1月27日 令和6年度第2回インバウンド対策協議会

(於: オフィスサークルN五反田 大セミナー室)

9社14名の会員と協会役員3名の、計17名が参加しました。前回学がった課題から、今回は特にチケット販売とマナーについて、議論を深めました。

チケット販売については、インバウンド用のチケット販売サイトでは席が選択できない事等から日本語サイト上でインバウンド客が購入しコンビニ発券せずに来場する、対応するスタッフの負担が多い、等の苦勞する事例が前回に引き続き報告されました。対策の一案として、海外の事業者へ国内公演のチケット販売を委託する、歌舞伎座などインバウンド客の経験豊富な方面から講習を受ける、等のアイデアが共有されました。インバウンド獲得としてはSNSの活用、ホテルのコンシェルジュへのネットを通じた情報提供、公演情報を網羅した英語版サイト等が提案されました。

マナーについては、特に写真撮影の可否が公演により異なる場合、インバウンド客に理解させることへの苦勞があると挙がりました。最低限の事項だけでもイラストなどでわかりやすく、「皆で公演を楽しみましょう」という方向のポスター・冊子やデジタルサイネージ等を作成してはとの提案がありました。海外の“緩やか”な鑑賞マナーに合わせるべきなのかとの悩みもあるが、一方で日本の鑑賞マナーの良

さが海外のアーティストから高く評価されている事もあり、静かにしっかり公演を鑑賞できる事を売りどころにすることも一案である、との意見もありました。

次回は3月～4月頃に開催いたします。引き続き会員各位のご参加をお待ちしております。



●1月30日 令和6年度第3回執行役員会、定例理事会、令和7年新年会

(於: アルカディア市ヶ谷)

理事会では、各種事業の進捗報告を担当理事から行った他、役員選任委員会の設置、ガイドブック発刊についての審議、文化庁長官表彰推薦者選定についての意見交換等を行いました。(新年会については1面参照)



●宝くじドリーム館

ランチタイム/トワイライト・クラシック・コンサート

東京と大阪にある宝くじドリーム館にてほぼ毎月1度行われる、1時間の無料コンサートの企画制作を協会にて行っています。当日くじ引き抽せんで当せんされたお客さまにご観覧いただきました(東京は120名、大阪は80名限定)。



12月18日(水)東京

出演:

坂口昌優/ヴァイオリン

(ミリオンコンサート協会所属)

デュオ・レゾネ/クラリネット&ピアノ

(プレリューディオ所属)



12月19日(木)大阪

出演:

浜まゆみ/マリンバ(プロ アルテムジケ所属)

デュエット かなえ&ゆかり/ピアノデュオ

(プレリューディオ所属)



1月15日(水)東京

出演:

出演: 吉岡次郎/フルート

(ミリオンコンサート協会所属)

中川賢一/ピアノ(アーティフィニティ所属)



1月16日(木)大阪

出演:

新居由佳梨/ピアノ(プロ アルテムジケ所属)

海野幹雄/チェロ(新演コンサート/

カモシタピアノ所属)

What's New

今後の活動予定

●2月28日 青年部 第1回勉強会企画 座談会「座・青年部～先輩を迎えて」

日時:2025年2月28日(金)16時～18時

会場:オフィスサークルN5反田 大セミナー室

ゲスト:青木 聡氏(公益財団法人 ソニー音楽財団 専務理事/
ライブエグザム 常務取締役/ソニー・ミュージックエンタテインメント
ライブビジネス管理本部副本部長)

青年部初の企画として、業界の先輩たちをゲストに招き座談会を開催します。

一般的な講義や講習会とは違い、「車座」を組み、ゲストと近い距離間で開催。眼の前でお話を伺い、直接質問もできる機会を作ります。ゲストのこれまでのキャリアや仕事の話はもちろん、青年部員からの質問や仕事を抱える悩みなどを近い距離で話し合い、仕事のヒントやきっかけを掴める2時間です。

●3月18日 令和6年度第1回女性部会 講演会「インクルーシブ・アーツ 社会包摂×文化芸術」

日時:2025年3月18日(火)14時～16時

会場:オフィスサークルN5反田 大セミナー室

講師:新井 鷗子氏(構成作家/横浜みなとみらいホール館長/東京
藝術大学(インクルーシブアーツ研究)客員教授/東京大学先端科学
技術研究センター客員教授)

参加者:〈会員限定〉現地参加先着30名、オンライン参加は人数制限無
費用:無料

女性部会では、協会会員社所属の女性スタッフの交流をメインに行
ってまいりましたが、この度初めての企画として「今、活躍している協会
女性メンバーのお話を聞く」というコンセプトで講演会を開催させて
頂きます。

講師として賛助会員 横浜みなとみらいホール館長の新井鷗子
さんをお迎えし、トップランナーとして取り組まれている「インクルー
シブ・アーツ」「社会包摂×文化芸術」についてお話を伺います。

女性部会主催ではありますが、協会会員であれば男女問わずご参加
いただけます。この機会にぜひ多くの皆様にご参加いただきたく、お
申込を心よりお待ちしております。

【申込締切 3月11日(火)】

お申込はウェブから(会員限定)



●3月27日 令和6年度第4回定例理事会、統括執行役員会

●宝くじドリーム館

ランチタイム/トワイライト・クラシック・コンサート

3月以降は次の予定です。

■3月12日 東京

「ランチタイム・クラシック・スペシャルコンサート」

中川賢一/指揮(アーティフィニティ所属)

神谷未穂/ヴァイオリン(ミリオンコンサート協会所属)

ほか、過去の出演者を中心に構成された特別編成の室内オーケス
トラによる公演

■3月13日 大阪

「トワイライト・クラシック・スペシャルコンサート」

福川伸陽/ホルン(コンサートイマジン所属)

石上真由子/ヴァイオリン(ミュージックパートナーズ所属)

澁村依里/ヴァイオリン(プロ アルテムジケ所属)

神谷未穂/ヴァイオリン(ミリオンコンサート協会所属)

奥田なな子/チェロ(ミリオンコンサート協会所属)

■4月16日 東京

上田純子/ソプラノ(二期会21所属)

■4月17日 大阪

酒井有彩/ピアノ(Miyazawa&Company所属)

ヴィタリ・ユシュマノフ/バリトン(ミュージックパートナーズ所属)

■5月21日 東京

野口千代光/ヴァイオリン(コンサートイマジン所属)

實川風/ピアノ(Miyazawa&Company所属)

■5月22日 大阪

アーバンサクソフォンカルテット(プレリューディオ所属)

岡田奏/ピアノ(パシフィック・コンサート・マネジメント所属)

※6月以降も開催予定です

※所属先は2月10日現在

第42回クラシック音楽健球会 再開のご案内

(ゴルフコンペ)

当協会の会員間交流を目的に実施していた定例行事「クラシック音楽健球会」は2019年9月第41回クラシック音楽健球会を最後に、以来途絶えていました。このたび新年会席上で会員からゴルフコンペ再開の希望が寄せられました。一層の親睦を深めたい願いから、参加希望をお待ち申し上げております!会員以外でアーティスト、ご友人の方々にも参加のお誘いを頂ければ幸いです。参加希望は3月21日(金)迄に協会事務局へお申込みください。

クラシック音楽健球会会長 中坪 功雄



——音楽とともに働きたい人の必携書!!——

新 クラシック・コンサート制作の基礎知識

クラシック・コンサート企画・制作の基本となる実践テキストが、
最新の知見を加えて10年ぶりにリニューアル!
第一線で活躍中のプロデューサー、ディレクターら16名による
渾身の執筆です。

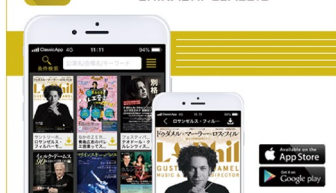
予定価格 ■2,750円(税込)

発行 ■株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス
制作 ■一般社団法人日本クラシック音楽事業協会 (2025年4月発行予定)

近日発売

※上記は2025年2月時点の予定であり、予告なく変更する場合があります。
最新情報は本会事務局までお問い合わせください。

チラシクラシック
CHIRASHI CLASSIC



クラシック公演情報と
チラシが無料アプリで

チラシ画像保存
地域・日付・ジャンル検索
公演情報&チケット購入
公演ご掲載も無料、簡単!

チラシクラシック



お問合せは当会まで

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

〒141-0022 東京都品川区東五反田5丁目24番9号 五反田パークサイドビル5F
TEL:03-5488-6777 FAX:03-5488-6779 URL: <https://www.classic.or.jp> e-mail: info@classic.or.jp



CLASSIC

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会は、77年の歴史を誇る日本で唯一のクラシック音楽に関わるマネジメント、ホール、演奏・創造・教育団体、メディア等を網羅した内閣府認可の事業者団体です。潤いのある豊かな社会を目指してクラシック音楽に係わる関係者が一同に集い、クラシック音楽の普及事業と音楽文化の発展に向けた様々な活動を会員と手を携えて展開しています。

クラシック音楽の普及事業

クラシック音楽の普及に向けてスマートフォンを活用したコンサート情報アプリ「クラシクラシック」の運営等の普及事業を開催する他、人材育成として研修会やシンポジウム等も定期的に開催しています。

音楽文化の発展のための事業

音楽文化の発展に向けたマーケティングリサーチ等の調査・研究、クラシック音楽事業ガイドの発刊等の情報提供、アジアや欧米の国際機関団体との交流の他に、全国のホールと連携したアウトリーチ事業や、公的機関等の文化催事等も積極的に展開しています。

正会員〈令和7年2月10日現在〉

(株)朝日ビルディング・浜離宮朝日ホール
(株)アスベン
(株)アーティフィニティ
(株)アートクリエイション
(株)AMATI
(株)Eアーツカンパニー
(株)1002
エイベックス・クラシックス・インターナショナル(株)
(株)NHKプロモーション
(株)王子ホール
(有)大阪アーティスト協会
(株)大阪アートエージェンシー
(株)オフィス・フォルテ
(公社)関西二期会
(有)クラシック名古屋
(株)クリスタル・アーツ
Kトラディティン(株)
(株)光藍社

コンサートイマジン
(株)ザ・シンフォニーホール
(株)ザ・スタッフ
(株)CBCテレビ 事業局事業部
(株)シド音楽企画
(株)ジャパン・アーツ
新演コンサート/(株)カモシタピアノ
(一社)全日本ピアノ指導者協会
(株)テンポリモ
(株)東急文化村
(公社)東京オペラシティ文化財団
(株)東京コンサート
(株)トゥッパンホール
伝統芸能(株)ナカツボ・アーツ
(株)二期会21
(株)日本アーティスト
(公社)日本オペラ振興会
日本コロムビア(株)アーティスト事業部コロムビアインターナショナルビジネスユニット

(公社)日本製鉄文化財団 紀尾井ホール
(株)ノジリスタジオ
ハーモニージャパン(株)
Hakuju Hall
(株)パシフィック・コンサート・マネジメント
(一社)プラムスホール協会
(株)プレリューディオ
(株)プロアルテムジク
(株)プロマックス
(株)ミツマ・ミュージックプロダクツ
Miyazawa & Co.
(株)ミリオンコンサート協会
(一財)民主音楽協会
(株)ラフトサウンド

賛助会員〈令和7年2月10日現在〉

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
朝日放送テレビ(株) イベント事業部
(株)イープラス
(公社)大阪交響楽団
(一財)小野文化財団
(株)音楽之友社
(特非)関西芸術振興会・関西歌劇団
(公社)神戸市民文化振興財団
コシマ・コンサートマネジメント
(株)コンソナントシアター
堺シティオペラ(一社)
(公社)サントリー芸術財団 サントリーホール

(学)尚美学園
昭和音楽大学
(株)シンファート 国際旅行部
住友生命いずみホール
(公社)ソニー音楽財団
(株)中京テレビクリエイション
(株)TBSテレビ
(株)デザイン・グリッド
(株)テレビ朝日 ビジネスプロデュース局
(株)テレビ東京 イベント局 イベント事業部
(株)テレビマンユニオン 音楽事業部
東海テレビ放送(株)

(株)東京国際フォーラム
(公社)東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
東京労音
東武トップツアーズ(株)関西支社
ナカダ音楽事務所
日本経済新聞社文化事業ユニット 文化事業部
(公社)日本室内楽振興財団
(公社)日本センチュリー交響楽団
びあ(株)
兵庫県立芸術文化センター
(公社)びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
フェスティバルホール

(株)ぶらあぼホールディングス
毎日新聞社事業本部文化事業部
(株)毎日放送事業局
三重県文化会館
宗次ホール
ヤマハ(株)
(公社)横浜芸術文化振興財団(横浜みなとみらいホール)
(公社)ローム ミュージック ファンデーション
ワキタコルディアホール

Relay Essay 私の音楽人生



鈴木 順子

(一社)日本クラシック音楽事業協会
賛助会員
(公社)東京都歴史文化財団
東京芸術劇場 副館長

私の仕事人生のスタートはサントリーでした。会社説明会に参加した時、机の上に置かれた冊子の真っ白な表紙に書かれた「やってみなはれ」という文字に、目が釘付けになりました。そして、説明会で語られたこと、冊子の中に書かれた開高健さんや、山口瞳さんの文章を読み、「こんなに面白い会社があったのか」と、サントリーの虜になってしまいました。そして、運よく入社すると、説明どおり、会社の中は常に何か新しいことに挑戦しようとする「やってみなはれ」精神に充ち溢れ、22歳の私は目を輝かせながら毎日の仕事を楽しんでいました。そんな中、東京初のクラシック専用ホールをつくるのが決まり、幸運にもその担当につくことになったのです。世界一美しい響きを求めて設計されたサントリーホールは、民間だからできることをやろうと、ホワイエにバーコーナーを設置したり、レセプションistによる質の高いサービスを提供したり、6か月間わたるオープニングシリーズを企画し、そこでサントリーホールのあり方を提示するなど、これまでの公共ホールでは考えられないスタートを切りました。音楽ホールでのプロデュースの仕事にすっかり魅了された私は、他の部署に異動するかもしれない「社員」を辞めて、開館準備真っ只中の王子ホールに転職。

王子ホールでは、「一流の演奏を身近に」をコンセプトにオープニングシリーズを開催。ロストロボ・ヴィチさん、カレーラスさんなど大物アーティストとの協働を楽しみました。

そして、1996年、東京国際フォーラムに転職、立ち上げからかわることになりましたが、2005年には、アートセンターとしてのブランドを確立するために、「ラ・フォル・ジュルネ(LFJ)」を誘致。LFJの発祥地フランス・ナントの会場を初めて訪れた時、その信じられない賑わいにびっくり。朝から晩まで複数の会場でコンサートを繰り広げるこの常軌を逸した音楽祭を「日本でやるならば、東京国際フォーラムでしかありえ

ない」と確信し、帰国後すぐに経営陣を説得して回りました。そして、9回目まで総合プロデューサーを務めてきました。LFJはすっかり丸の内の風物詩として定着し、10回目を迎える頃、これまでの経験を後進に伝える仕事をしたいと考えるようになり、公共文化施設に移ることを決意。2014年4月、東京芸術劇場に転職しました。

1990年にオープンした芸術劇場は、2009年に野田秀樹さんが初代芸術監督に就任し、創造発信型劇場として、オリジナル性を重視した作品創造や国際共同制作に積極的に取り組み、真にクリエイティブな表現を創造する発信拠点として活動するようになりました。

2026年度からは、演劇作家・小説家の岡田利規さん、指揮者の山田和樹さんが芸術監督に就任します。音楽部門の芸術監督を迎えるのは初めてで、新たな冒険に胸をときめかせているところです。

というわけで、これからますます、クラ協の皆さんのお力を借りて、音楽事業を通じて「地域の広場」となり、「世界への窓」となるような東京芸術劇場を運営していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします！

次は、サントリーホールの蓬澤宏哉副支配人にバトンをお渡しします。

プロフィール

サントリーホール、王子ホール、東京国際フォーラムを経て、2014年から東京芸術劇場、現在、副館長を務める。

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

東京都豊島区西池袋1-8-1 <https://www.geikei.jp/>

東京芸術劇場は、1990年10月に開館。2012年に大規模改修を経てリニューアルオープンし、日本を代表する創造発信型劇場音楽堂として、さまざまな音楽や舞台芸術のプログラムを提供している。クラシック専用のコンサートホール、演劇・舞踊等の公演を行うプレイハウスとシアター・アーティスト&ウエストの他、展示スペース、大小の会議室やリハーサル室も併せ持つ複合芸術文化施設。管理運営は、公益財団法人東京都歴史文化財団が行っている。